

Program & Schedule

INTERNATIONAL MOKUHANGA CONFERENCE

Kyoto & Awaji
June 7-11, 2011

実演、ワークショップ、 論旨発表者

- 実演
- ワークショップ
- アーティストのプレゼンテーション
- 技術の開発
- 素材研究
- 歴史・哲学
- 社会と木版画
- 日本における木版画の現状
- 木版画教育
- 国際交流

赤字は各発表者のコード番号です。発表者のスケジュール表にも掲載されています。
名前はアルファベット表記の順で掲載されています。

実演とワークショップ

実演

Barbagli, Niccolo D/01

ニッコロ バルバグリー (イタリア)

■水を表現する2つの視座—版を彫ることと紙に摺ること

Kernan, Catherine D/02

キャサリン ケルナン (米国)

■アクア・インク (Akua Inks 社製) でつくる木版画モノタイプ

Mathie, William D/03

ウィリアム マシー (米国)

■立って使える伝統木版の彫摺作業テーブル

Takenaka Kenji & Harada Yuko D/04

竹中健司 (京都) & 原田裕子 (京都)

■京版画の制作技法紹介

Sato Keizo D/05

佐藤景三 (京都)

■職人の技—伝統木版から現代木版への応用

Fujisawa Hiroshi D/06

藤澤洋 (京都)

■彫りの実演—信心と木版画について

Steiner, Richard D/07

リチャード スタイナー (米国/京都)

■伝統と現代 道具と表現

Goto Hidehiko D/08

後藤英彦 (神奈川)

■本ばれん作りとばれんの包み

ワークショップ

Yamada Kiyoharu W/01

山田喜代春 (京都)

■木版画と俳句のコラボレーション

Yabuta Kashu W/02

藪田夏秋 (京都)

■木屏風と蝶番 (ちょうつがい) の体験研修

Yabuta Kashu W/03

藪田夏秋 (京都)

■裏打ち体験研修

会議発表者

アーティストのプレゼンテーション

Cattani, Maria Lucia (Brazil) P/31

マリア ルチア カタニ (ブラジル)

■南を目指せ

Cellerini, Kathryn P/32

キャサリン チェレリニー (米国)

■手刷りの工程から生まれる深い思索

Hey, Henrik P/33

ヘンリック ヘイ (オランダ)

■詩と版画「夏の雨」

Modi, Prathap K. P/34

プラサップ モディ (インド)

■一版多色摺り

Mohamed, Rahman P/35

ラフマン モハammad (マレーシア)

■東洋に学ぶー日本の道具とマレーシアの制作技法

Poskovic, Endi P/36

エンディ ポスコヴィッチ (ボスニア ヘルツゴビナ / 米国在住)

■スタジオや教室で体験する木版画の深遠な世界

Rushforth, Suzan P/37

スーザン・ラッシュフォース (オーストラリア)

■オーストラリアにおける木版画

技術の開発

Softic, Tanja P/38

タンヤ ソフテック (米国)

■版から開放した木版画

Furneaux, Paul P/39

ポール フルノー (英国)

■木版画の特性における研究

Furuya Hiroko P/40

古谷博子 (東京)

■木版画教育と技術論

HUDE P/41

フデ (モンゴル)

■伝統木版画からの応用—光と影

Kiran, Hasan P/42

ハサン キラン (トルコ)

■伝統的な木版芸術に対する新たな模索

Morikawa Miwa P/43

守川美輪 (宮崎)

■凹版木版画の多色摺り

素材研究

Inaba Masamitsu P/17

稲葉政満 (東京)

■煮熟剤の違いによる楮紙の保存性の違い、楮繊維の切断と打紙による「鎌倉楮紙の復元」

Kosugi Hiroaki P/18

小杉弘明 (大阪)

■絵の具の基礎知識

Kudo Tamiko P/19

工藤多美子 (東京)

■版画用和紙におけるドーサ引きの標準化

Laitinen, Kari P/20

カリ ライティネン (フィンランド)

■山桜に代わる新しい版材

Lamb, Elspeth P/21

エルスペース・ラーム (英国)

■板と絵の具、そして手漉き紙の魅力

歴史・哲学

Andersson, Asa P/01

オーサ アンダーソン (スウェーデン)

■日本伝統木版画と現代美術に見られる親密な空間

Cullom, Beth P/02

ベス カラム (米国)

■コモン GREIN / 木目 : 木版画と創作版画

Gorni, Elettra P/03

エレトラ ゴルニー (イタリア)

■18～19世紀における日本の木版画との実験的な交流

Akimitsu P/04

アキミツ (名古屋)

■創作版画と夭折の版画家—日本人の「おもう」についての考察

Kunc, Karen P/05

カレン クンツ (米国)

■西洋のアーティストにとっての東洋の技法 : ボカシの考察

Miida Seiichiro P/06

三井田盛一郎 (東京)

■出版・印刷物としてあった根源的エネルギーの再獲得

Moser, Joann P/07

ヨアン モーサー (米国)

■チウラ・オバタにとってのヨセミテ公園

Skinner, Scott P/08

スコット スキナー (米国)

■浮世にはばたく風

Starr, Tyler P/09

タイラー スター (米国)

■日本の木版画論

社会と木版画

Frimodig, Bess P/10

ベス フリモーディグ (英国)

■彫りからの開放による伝統木版画の革新

Gribbin, Jacqueline F. P/11

ジャクリーン グリビン (オーストラリア)

■アボリジニ・コミュニティにおける木版画

日本における木版画の現状

Cuccio, Claire P/12

クレア クッチオ (米国 / 神戸在住)

■対話に向けて—作家・職人・鑑定家・コレクターと木版画

Ham, Lesley P/13

レスリー ハム (米国)

■現代木版画に於ける伝統と革新

Nakayama Makoto & Kitamura Shoichi P/14

中山誠人 (京都) & 北村昇一 (京都)

■アーティストと職人の共同制作ー伝統的な彫摺から現代木版画へ

Numabe Shinkichi P/15

沼辺伸吉 (東京)

■浮世絵版画の現状ー新たな評価目標

木版画教育

Baldwin, Katie P/22

ケイティ バルドウィン (米国)

Nam, Yoonmi P/22

ユーミ ナム (韓国／米国在住)

■テクノロジー時代における手刷り版画の教育

Kaca, Dariusz P/23

ダリュウス カッカ (ポーランド)

■ロツ美術大学での木版画教育

Lawing, Preston B. P/24

プレストン ローイング (米国)

■デジタル時代の木版画

Lee, Jon P/25

ジョン リー (米国)

■海外における木版画教育導入について

Vollmer, April P/26

エプリル ボルマー (米国)

■木版画との旅ー10年間の木版画ワークショップを顧みて

国際交流

Forrest, Elizabeth P/27

エリザベス フォレスト (カナダ)

■国際化する木版画

Hara Keiko P/28

原慶子 (日本／米国在住)

■米国における抽象木版画ー伝統木版画からの引き継いだもの

Schneider, Michael P/29

マイケル シュナイダー (オーストリア)

■オーストリアにおける日本の木版画

Steiner, Richard P/30

リチャード スタイナー (米国／京都在住)

■京都国際木版画協会 (KIWA) の活動